

平成21年2月10日

各位

会社名 株式会社フジックス  
代表者 代表取締役社長 藤井 一郎  
本社所在地 京都市北区平野宮本町5番地  
コード番号 3600  
上場取引所 大証第2部  
問合せ先 取締役管理部長 山本 和良  
(電話番号) 075-463-8111

## 繰延税金資産及び繰延税金負債の取崩し並びに業績予想の修正に関するお知らせ

平成21年第3四半期(平成20年10月1日~平成20年12月31日)において、下記の通り繰延税金資産及び繰延税金負債の取崩しをいたしましたので、その概要をお知らせいたしますとともに、最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年5月14日に公表いたしました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の取崩し

当期の業績見通しを踏まえて、繰延税金資産の回収可能性の判断に関する監査上の取扱い(監査委員会報告第66号)に従い、繰延税金資産の回収可能性を慎重に見直し、当社で繰延税金資産の全部及び繰延税金負債の一部を取崩すこととした結果、法人税等調整額(税金費用)を約41百万円計上いたしました。

#### 2. 業績予想の修正

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日~平成21年3月31日) (単位;百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	5,499	84	131	18	2円49銭
今回発表予想(B)	5,120	31	27	158	26円23銭
増減額(B)-(A)	378	116	104	176	
増減率(%)	6.9		73.3		
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	5,117	141	191	39	5円45銭

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日~平成21年3月31日) (単位;百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	4,426	122	13	33	4円62銭
今回発表予想(B)	4,204	219	112	191	21円69銭
増減額(B)-(A)	221	96	98	158	
増減率(%)	5.0				
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	4,275	43	54	13	1円87銭

#### 修正の理由

米国の金融危機に端を発した世界的且つ急速な景気減速の影響を受けて、急激な円高の進行と株式市場の急落に見舞われ、企業業績が一気に悪化するなど未曾有の状況に陥りました。また、これに伴う雇用情勢の急速な悪化により、先行きに対する不安感が増大し、消費マインドも急速に萎縮しつつあります。縫い糸市場も、

昨年来の衣料品の売れ行き低迷により、日本、中国ともに生産調整が続いていることや、消費者の生活防衛意識の高まりを受けて手作りホビー分野も低調であるなど全般に厳しい環境が続いております。

個別の平成21年3月期の売上高は、上記の状況を踏まえ、期初の予想を下回る見込みとなりました。利益につきましても、営業利益、経常利益、純利益ともに期初の予想を下回る見込みとなりました。その主な理由は、売上高減少及び操業度低下の影響による売上総利益の減少に加えて、販売促進関連費用の増加、内部統制構築に係わる関連費用の増加、生産拠点の移転統合に関する詳細協議の結果として発生した割増退職金（特別損失）の計上、繰延税金資産の全部及び繰延税金負債の一部を取崩したことなどによるものであります。

連結の平成21年3月期の売上高についても、個別同様、上記の理由から、期初の予想を下回る見込みとなりました。利益につきましても、営業利益、経常利益、純利益ともに期初の予想を下回る見込みとなりました。その主な理由は、個別の売上高減少、操業度低下の影響及び中国での売上高減少の影響による売上総利益の減少に加えて、個別の販売促進関連費用の増加、内部統制構築に係わる関連費用の増加、生産拠点移転統合損失（特別損失）の計上、繰延税金資産の全部及び繰延税金負債の一部を取崩したことなどによるものであります。

（注）業績予測につきましては本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる場合があります。

以 上